

平成28年度 長野県小学生バレーボール連盟 運営基本方針

異常気象による暖冬の冬が過ぎ、新しい芽吹き of 時期に入って参りました。

バレー界では石川選手や柳田選手などの活躍により、ロシアをあと一歩のところまで追いつめた男子チームのあの姿には感動を受けました。また、競技は違いますが世界ランキング3位の南アフリカを破る大金星の全日本ラグビーチームにも感動させられました。

スポーツはする者から様々な感動を受けることがあります。我々の小学生バレーボールも様々な人に感動を与えてきております。しかし昨年秋九州地方のある監督の行った行為は、これらから全く逸脱した行為であり決して許される行為ではありません。

長野県小連のスローガンであります「絆」と「君の笑顔がサーブスエース」。新年度にあたりこれらのスローガンの意味を感じ長野県小連も基本に戻ろうではありませんか。

近年、世論ではコンプライアンスの遵守や、危機管理などが重要視されております。

我々の小学生を対象とした指導方法も様々な角度から問われるようになってきております。また、チームに於ける活動中や競技会中での、様々な危機管理の責任が問われようとされてきております。

県小連の活動の中には規定や内規、規則などさまざまな決まり事があります。もう一度それらを十分に熟知し関係者全員がこれらに取り組んでいきたいと思っております。

コカ・コーラ杯は30回を超え、長野米カップも10回を超えようとしております。大会の運営の成功はもとより新しい芽の発掘や、育成に結びつくよう長野県小連に関係する全員の皆様の協力をお願いします。